

審査項目及び配点

審査項目		審査の視点	
1 本業務に対する考え方	本業務の理解度	本業務の目的、実施条件、内容の重要度等、本業務の趣旨を理解した提案となっているか。	15
	各種法令との整合性	こども基本法等の法令や国の最新の動向に基づいた計画とする提案となっているか。	
	現行計画との関連	当市における現行計画の分析と課題の整理を行い、今後の方向性を見据えた重点的取り組みや施策の提案がされているか。	
	新計画への理解	当市で策定した子ども・子育て支援事業計画のほか、包含する子どもの貧困対策推進計画、子ども・若者育成支援計画の内容、各計画の位置づけを正しく理解し、当市の子育て支援施策や事業計画を分かりやすく知ってもらうため工夫について提案されているか。	
2 事業者の特徴	業務管理体制	本業務に支障のない適切な人員配置がなされているか	20
	業務実績	子ども・子育て支援事業計画に加え、子どもの貧困対策推進計画、子ども・若者育成支援計画の策定支援の業務の実績があるか。経験や実績等は妥当であるか。	
	地域精通度	過去5年間で、岩手県内での業務実績（件数）があるか。	
	資料作成力	提出書類やプレゼンテーションの資料が分かりやすく、整理されているか。	
	説得力	事業説明は論理的で分かりやすく、説得力があるか。	
3 提案内容の特徴	提案コンセプト	調査対象や調査方法は説得力があり、計画策定にどのように活用するか等、効果的な手法について提案がなされているか。	35
		当市の子ども・子育て支援事業計画のほか、子どもの貧困対策推進計画、子ども・若者育成支援計画を一体的に捉え、現状や課題、特徴を捉えた効果的な調査項目が設定された提案となっているか。	
		企画提案者独自のノウハウや強み、専門性を活かし、当市の子育て支援施策に有効な提案がされているか。	
	ニーズ調査	子どもや子育て家庭等からの様々な意見を聴くための具体的な実態把握方法、意見聴取の手段等の提案がされているか。 調査の回答率を向上させるための工夫や提案がされているか。	
	子ども等の意見の反映	子どもや子育ての家庭等の意見等を反映させた計画とする提案となっているか。	
地域特性の反映	当市の地域特性を踏まえた計画とする提案となっているか。		
4 業務管理体制	進捗管理	進捗管理の方法が明確になっているか	20
	役割分担	市と事業者の役割が明確になっているか。	
	スケジュール	本業務スケジュールは、実現性・妥当性のある提案となっているか。	
	サポート体制	法令や国の動向、他市の事例などの情報提供、計画策定における助言や子ども・子育て会議等の運営を円滑に行えるサポート体制となっているか。	
5 追加提案	独自提案	その他、この業務に有効な独自の提案があるか。	5
6 見積内容	業務見積額	税込みの見積金額を比例配分方式により評価 (X-Z) ÷ (X-Y) × 5 【X = 委託料上限額 Y = 最低見積額 Z = 評価対象見積額】	5
合計			100